

## プロジェクト名：生物教材の開発

プロジェクト代表者 林 正美 (教育学部理科教育講座 教授)

1 自然界における生物を観察する経験が重要で、この点に関する指導法や教材の開発・改良がたえず求められる。近年、大学や研究施設において、小学生から高校生までの生徒を対象に、学校だけでは満たされないような生物の観察の機会を提供する試みが積極的になされるようになってきた。このような情勢にかんがみて、具体的に理科の教員を育成する上で、自然界における生物を観察するための指導法や教材の新たな開発を行いたい。

このための試みの一つとして、2008年8月1日、中学校教員に対する研修として、本学教育学部理科教育講座の生物学実験室において、発生学実験の実習を行った。ムラサキウニを材料に、その飼育から、採卵、採精、受精の際の注意、初期発生を観察する際の注意事項について、ほぼ一日を当てた。

この際、ウニの発生と温度との関係について、また発生遺伝学一般のことがらについての解説もあわせて行った。

日比野拓・教育学部理科教育講座助教授、および藤沢弘介・元教授が協力した(資料1)。

2 動物の発生に関する基礎的な知識の理解に供する参考書「生物学大辞典」東京化学同人を、分担執筆した。この辞典は、岩波書店「生物学辞典」とは異なり、より教育に重点を置き、高校生にも読める記述をこころがけている点が特色。動物の発生に関する80項目を分担執筆した。現在、2009年9月時点で校正中。

資料1

入理研発 第12号  
平成20年7月 8日

埼玉大学教育学部理科教育講座  
准教授 日比野 拓 様

入間地区理科教育研究会  
会長 新井 良和

指導者の依頼について

公私共にご多忙のことと存じますが、入間地区理科教育研究会において、下記により理科現地研修会を実施いたしますので、貴職に指導者としてご指導賜りますようお願い申し上げます。

記

- |        |  |
|--------|--|
| 1 研修会名 | 入間地区理科教育研究会 理科現地研修会                            |
| 2 日 時  | 平成20年8月1日(金) 9:00~12:00                        |
| 3 場 所  | 埼玉大学教育学部理科教育講座生物学実験室(教育学部B棟4階)                 |
| 4 内 容  | ムラサキウニの受精と卵割の観察、及び発生実験                         |
| 5 備 考  | この集会は、西部教育事務所長(平成20年6月27日付け、西教第166号)により許可済みです。 |
| 6 その他  | この件に関するお問い合わせは、担当幹事までお願いいたします。                 |

連絡先 入間地区理科教育研究会 事務局  
日高市立高麗川中学校 谷川 潤一  
電話 042-989-1158  
FAX 042-985-7121